

目的

総人口の減少、少子化、高齢化といった社会情勢の中、地域の暮らしを支える足として、将来にわたって持続可能な公共交通網の形成が求められています。これらの課題に対応し、三原村の実態に適した公共交通サービスを実現するため、三原村地域公共交通計画を策定しました。

計画期間

令和4年(2022年)4月1日～令和9年(2027年)3月31日

対象区域

三原村全域

基本方針

公共交通網が社会基盤の一つとして機能することで、村民は住み慣れた地区で安心して暮らし続けることができ、様々な移動ニーズや制約を持つ来訪者が訪れることができる三原村を目指す。

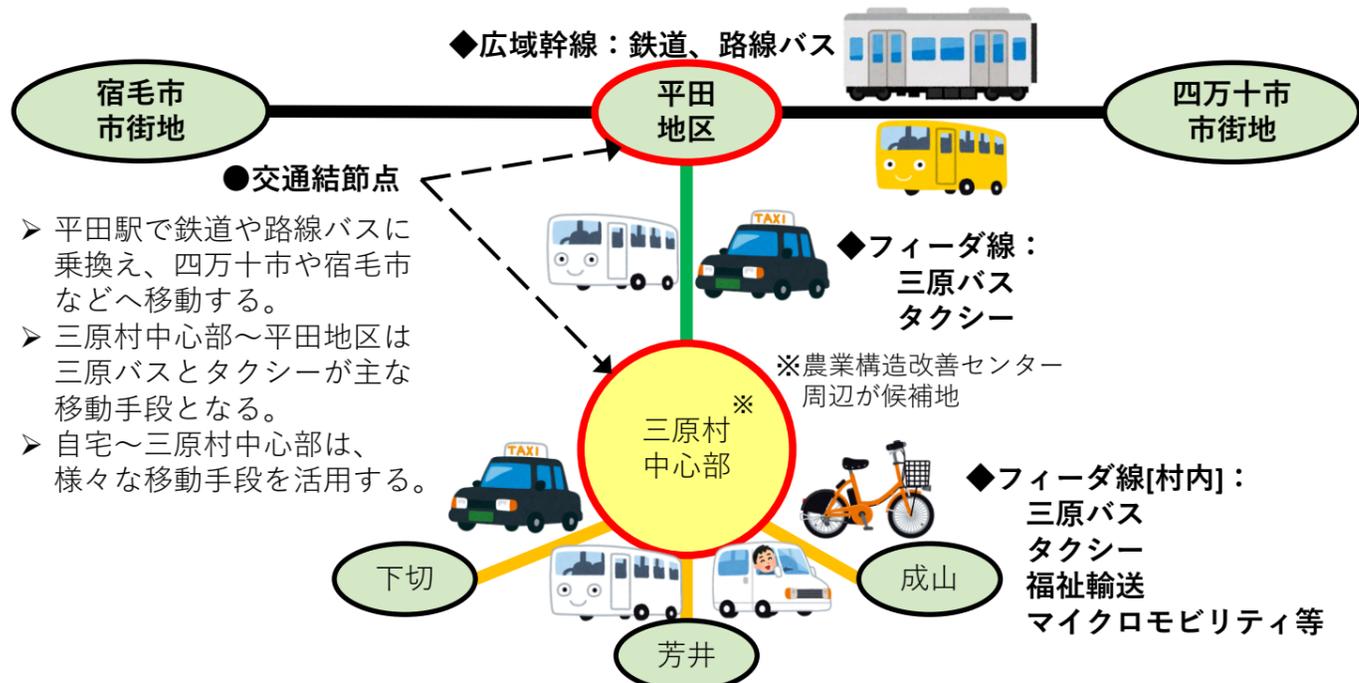


図 三原村地域公共交通のイメージ



鉄道



路線バス



三原バス



平田駅



農業構造改善センター



福祉輸送



レンタサイクル

上位・関連計画

抽出した課題

基本方針

目標1
全村民が移動手段を確保

目標2
誰もが便利で利用しやすい公共交通網の構築

目標3
健全な公共交通施策の運営

目標4
人が集まり活気がある三原村づくり

目標5
来訪者にも優しい公共交通網の構築

目標6
安全安心な移動環境の確保

目標7
環境への配慮

- 現況整理
 - 社会的現況
 - 公共交通等の現況
- ニーズ・意向調査
 - 三原バスの利用実績
 - 関係者へのヒアリング
 - 住民の意向（アンケート調査）

- テーマ1：誰もが使いやすい公共交通網の構築**
- 取組み1-1：定期的な運行の見直し
 - 取組み1-2：補完する移動手段の確立
 - 取組み1-3：交通事業者との連携強化
 - 取組み1-4：交通結節点の整備
 - 取組み1-5：福祉輸送の活用
 - 取組み1-6：福祉タクシー利用券の利用環境確保
 - 取組み1-7：三原バス車両の更新
 - 取組み1-8：運転手の確保

- テーマ2：利用促進**
- 取組み2-1：公共交通に関する説明及び意見交換
 - 取組み2-2：DXの推進
 - 取組み2-3：おでかけイベントの実施

- テーマ3：魅力ある三原村づくり**
- 取組み3-1：パーク&サイクルライドの構築
 - 取組み3-2：安全性向上に関する取組み
 - 取組み3-3：運転免許自主返納に関する情報発信
 - 取組み3-4：通学支援
 - 取組み3-5：レンタサイクルの利活用